

パブリック・コメントの意見の概要と市の見解

対象案件 「和光市スポーツ推進計画（改訂版）（案）」

実施期間 平成30年1月18日（木）～2月6日（火）

意見数 2名7件

「市の考え方の区分」

◎：意見を反映し案を修正した ○：意見を一部反映し、案を修正した △：案を修正しなかった
□：その他（感想、この案件以外への意見等）

No.	意見の概要	市の考え方	区分
1	①乳幼児期の「一家族・遊び（スポーツ）」「感じる」について 乳幼児は、発達段階で親の助けがなければ発育しないため、乳幼児と親を一括りで「一家族」と考えます。乳幼児期はスポーツに対する親の考え方の影響を直接受けます。乳幼児期に家族一緒に公園でする遊び（かけっこ、なわとび、砂場遊びなど）が「スポーツの原点」となります。この過程を経て乳幼児は体で感じるようになり、スポーツに興味を持てるようになります。乳幼児を育てる親に向けた「スポーツっていいよね」という考え方、「感じる」心を育くめるよう支援して欲しい。	①実施施策(1)「する」スポーツの「イ 乳幼児期（0～6歳）におけるスポーツの充実の中で、親子で参加できる事業を実施し、スポーツの良さを伝えてまいります。	△
	②子育て中の親への講演会があってもよいと思う。	②施策(2)「観る」スポーツの「ウ プロ選手等による講演会等の実施」の中で、子育て中の親等を対象とした講演会等の実施も視野に入れて検討いたします。	△
	③子どもの好きなスポーツ「やる」「見つける」「出会う」場所として、総合体育館のほかにも子どもの徒歩圏内にある公共施設が活用できるとよい。	③ご意見としてお伺いいたします。 アンケート調査では、スポーツに関する情報で不足しているものとして、「スポーツができる場所や施設の情報が最も多かったため、スポーツができる施設の提供に努めてまいります。	△

	④アクシスにある「ミニテニス」プログラムを総合体育館や南公民館でもやってほしい。 ⑤スポーツ少年団に「テニス」があるといいと思う。	④ご意見としてお伺いいたします。 ⑤ご意見としてお伺いいたします。	△ △
2	①アンケート調査結果では、運動が苦手・時間がない等の理由で約7割近い人が身体を動かすことをしていない。 このような人に何らかの継続的な運動方法を提供することで怪我や病気も減少して市民の健やかな生活に繋がると思う。 例えば1日の簡単な運動プログラム（健康体操・柔軟体操など）をいくつか用意して、年齢や体力に見合ったプログラムを組んで毎日続けること。また、続けることで何かのポイントなどがもらえる等の市独自の取り組みをする。 ②障がい者が運動をする機会が極めて少ない理由に、社会環境の問題と元々運動に対する関心が少ない、ルールが分からないことが考えられる。 専門的な有識者や他市や関係団体を調査し、参考にしながら障がい者健康維持の取り組みに繋がたらどうか。また、地区社協との連携など、地域での広範囲の積極的な提案をお願いしたい。	①実施施策(1)「する」スポーツの「キ 地域・全年齢におけるスポーツの充実」として取り組む各施策の中で、ご意見を反映できるよう努めてまいります。 また、上記施策内の「(ケ) 健康づくりを意識したスポーツ推進」において、健康マイレージがあります。健康マイレージは、ウォーキングの継続や特定健診等の受診などでポイントが付き、貯めたポイントに応じたインセンティブが受理できるため、この施策をPRしてまいります。 ②実施施策(1)「する」スポーツの「カ 障害者におけるスポーツの充実」の「(ウ) レクリエーションスポーツの推進」の中で、レクリエーションスポーツの紹介や場の提供をいたします。 また、福祉分野と連携して、障害者の健康維持に努めてまいります。	△ △